



第500号

スズキ労連

2023年

新春号

スズキ関連労働組合連合会

静岡県浜松市南区増楽町20

電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838

発行人 武藤憲司

編集人 鈴木将人

謹賀新年



スズキ労連 会長 武藤 憲司

スズキグループで働く組合員とそのご家族のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、スズキ労連の諸活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

スズキ労連は昨年2022年9月に結成50周年を迎えました。今から50年前、スズキ労連の各加盟組合は、それぞれの力を結集し、「新しい力を生み出し、希望に満ちた未来を築くために、スズキグループの連携強化」を目指し、その第一歩を踏み出しました。結成当時は6組合9,500人という組織で発足しましたが、現在は30,000人を超える組織へと成長し、脈々と受け継がれてきた先人たちの熱い思いや、活動の歴史を振り返る節目の年となりました。

一方で、新型コロナウイルスの影響は現在も続いており、その収束は今なお見通せない状況となっています。そして、半導体を含む部品供給不足の影響や、原材料の高騰も深刻です。あらゆる製品の値上がりや、私たちの家計を直撃しています。このような状況の中、組合員の皆さまにはより良い商品を一日でも早く、1台でも多くお客様にお届けするためグループ全体でご協力頂きましたことに感謝申し上げますとともに、皆さまが安全に安心して働き生活できる環境づくりに努めてまいります。

本年4月には統一地方選挙が実施されます。スズキ労連では、組織内議員として、県議会4期目の挑戦となる田口章さん、市議会2期目の挑戦となる岩田くにやすさんの推薦を決定し、これまで後援会加入活動を進めてまいりました。現在は、支援者の拡大と定着に向けて取り組んでおります。組合員全員のご理解とご協力により支援の輪をさらに広げていただくようお願い申し上げます。

最後に、本紙は労連機関紙を発行し500号というこちらも節目の機関紙となりました。デジタル化が進み、紙媒体の情報ツールの未来はあと幾ばくかといったところでもありますが、これまで発行に携わってきた労連役員の労をねぎらうと共に、今後も労連活動の情報発信ツールのひとつとしてその役割を引き継いで参りたいと思います。

本年もスズキ労連の組合員一人ひとりが生き活きと働きながら、明るい将来を見据え、夢を持ってチャレンジしていける社会を実現するため、執行部一同、心ひとつに取り組みを進めて参ります。ともにがんばりましょう。

本年もよろしく

お願い致します。

スズキ関連労働組合
連合会 役員一同

スズキ労働組合

平岡ボデー労働組合

スズキ部品製造労働組合

スズキ輸送梱包労働組合

ベルソニカ労働組合

スズキ部品秋田労働組合

スニツク労働組合

小楠金属・熱処理労働組合

スズキ部品富山労働組合

スズキ新潟販売労働組合

岐阜スズキ労働組合

スズキ販売労働組合

スズキ納整労働組合

スズキファイナンス労働組合

スズキ労連組織内議員

地方の自立を推進します！

静岡県議会議員 田口 章

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年は卯年。ホップ!ステップ!!ジャンプ!!!と大きく飛躍する年にしたいですね。みなさまのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

本年は県政4期目にチャレンジします。浜松市政に初めてチャレンジした16年前の初心を忘れず、労組役員時代に学んだ「傾聴(声を聴くこと)」と営業マン時代に鍛えた「フットワーク」でみなさまのご期待にお応えできるようガンバります。ご支援よろしく申し上げます。

今年の大きな政策目標は「地方の自立」です。グローバル社会における日本のプレゼンス低下が指摘されています。経済や外交防衛、ジェンダーなどさまざまな課題があります。国内に目を転じて人口減少、少子高齢化、財政悪化など構造的な課題が山積しています。これらはすべて政治の問題です。

地方議員である私は、全国一律で施策を展開する中央集権制度の限界を感じています。国もそのことは分かっている1999年に地方分権一括法を公布しています。しかし20年が経過した今も、中央政府主導の「地域主権」「地方創生」は掛け声ばかりで遅々として進みません。

日本を元気にするためには、地方を元気にしなければいけません。地方政治は国に頼るのではなく、今こそ、地域住民の声を聴き、その地域の魅力を最大限活かした政策を推進することが必要です。外交防衛、通貨、防疫、社会保障などは国の役割ですが、政策を仕分けしてできる限り地方の自主性を活かす仕組みに変えていく必要があると考えます。自立した静岡県を創るために全力でガンバります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



新年のごあいさつ

浜松市議会議員 岩田 くにやす

新年明けましておめでとうございます。皆さまの今年一年のご健勝とご多幸をお祈りします。

今年(卯)年。兎にちなんだ言葉を調べると「鳶目兎耳(えんもくとじ)」という言葉があります。意味は「鳶のように小さなことも見つけ、兎のように小さなことを聞き逃さない」であり、議員活動の座右の銘として、胸に刻んでおきます！

さて1期目の議員活動もあと数か月で満了となりました。この間、市政への初挑戦から応援頂いた方、また議員活動の中で縁ができて、そこから応援頂いた方など、たくさんの方々に囲まれて、幸せ、かつ有意義な活動ができましたこと深く感謝申し上げます。

この間、浜松市積年の課題「行政区の再編」、今までの日常を全て奪った「コロナ禍」、自動車産業の100年に一度の大変革期、さらに各企業や住民に課せられた「カーボンニュートラル」など、本当に大きな課題が山積した中、それぞれの課題に「働く者の目」「納税者の目」を持って様々な提案を市へ投げかけ、対策を図ってまいりました。とはいえ課題は常に現在進行形であり、私が「やるべきこと」はまだまだ沢山あります。

その「やるべきこと」を今後も推進していきたいという強い思いから私は、次回の統一地方選挙も浜松市議会に挑戦することを決意しました。

市議会議員は地域住民に一番近い議員であり、生活道路の保全などの地域や組合員の小さな困りごとへの対応をしていく事は当然ですが、広い浜松市では、それぞれを単発で解消して終わりでは無く、それ以降に同じことが起きないよう、新たな仕組みを作っていく事が求められると考えています。

私は市議会議員46人の中でそれが出来る数少ない議員の一人であると自負しています。どうか皆さま、私の次回の挑戦につきましても、今まで以上のご支援を賜り支援の輪を広げて頂きたいと思っております。ともに頑張りましょう！



国民の暮らしや経済を守るために。

自動車総連組織内議員 参議院議員 はまぐち 誠



新年、明けまして、おめでとうございます。本年も宜しくお祈り申し上げます。スズキ労連の皆さんには、日頃から全国各地で、私達各級議員をご支援いただき、ありがとうございます。

昨年夏の参議院選挙では、力強いご支援をいただき、厳しい選挙を乗り越えることが出来ました。今後も、働く皆さんの立場で、自動車産業の成長・発展、暮らしや仕事の安心、安定の確保に向けて、全力で取り組む決意です。

今年、長期化するコロナ禍での社会・経済活動の推進、物価高騰対策、給料が上がる経済に向けた施策の推進、カーボンニュートラルへの着実な対応等、国民の暮らしや経済を守るために、政治の責任を果たしていかなければなりません。また、日本を取り巻く防衛、安全保障の環境は、大きく変化しています。北朝鮮の度重なるミサイル発射や懸念される台湾有事への対応、中国、ロシアへの対処など、自分の国は、自分で守るための取り組みが、より一層重要になってきたと考えています。国民民主党は、こうした危機感を踏まえ、「安全保障政策2022」をとりまとめました。今後も、すべての基盤となる平和を守るための取り組みを推進していきます。

また、今年は、地方議員の皆さんの選挙イヤーです。地域の課題にきめ細かく対応し、頼りになる存在が地方議員の皆さんです。4月の統一地方選をはじめとする地方議員の皆さんへのご支援を、何卒、宜しくお願い致します。

「実現した政策」

参議院議員 いそざき 哲史



スズキ労連の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年、労連結成50周年を迎えられましたことに改めてお祝い申し上げます。

昨年の臨時国会では、「対決より解決」の理念の下、国民民主党の緊急経済対策案を岸田総理に直接申し入れた結果、主に3つの政策が実現できました。

1つめは、ガソリン1リッターあたり最大35円程度の補助をはじめ、高騰する燃油価格の引き下げです。我々がトリガー条項凍結解除を訴え続けてきた結果、政府が昨年春から続けてきた上記政策は、本年に入っても継続することになりました。

2つめは、昨年の参院選で党の公約として掲げてきた、電気料金の引下げです。関連法案も参議院に提出して、料金の引き下げを提案し続けた結果、本年1月から9月までの間、一般家庭で2割程度引き下げることが決まりました。

3つめは、クリーンエネルギー自動車(CEV)補助金予算の増額です。2022年度予算が年度半ばで枯渇そうになりましたが、国会質疑でも訴えた結果、700億円の補助金予算(当初予算の1.5倍以上)が追加されました。

なお、昨年末に話題となった、いわゆる「走行距離課税」の導入議論については、エコカー普及のブレーキとなり脱炭素化に逆行、車が生活必需品である地方で暮らす方々の生活や物流事業者を直撃するなど、多くの問題があります。それでも導入しようとするのは、電動車普及で減少する燃料税収を、是が非でも穴埋めしたいという税を取る側の理屈です。断固反対していきますので、皆さんからの後押し、世論喚起をよろしくお祈りします。

どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~18:00
相談無料・秘密厳守



【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : masatos@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします! 労連機関誌が「500号」となりました。年12回発行で41年続いている計算になります。これが600号・700号と続けていけるように頑張ります! 今年も痩せるぞ! スズびょん